

第5学年 学級活動(1)指導案

1 議題名 「笑顔いっぱい!2・5年フレンズタイム集会パート2の計画を立てよう」

2 議題設定までの経過

5年生という学年になり、子ども達は高学年の仲間入りをし、学校行事や委員会活動などで6年生とともに学校をリードしていく経験を徐々に積んできている。そして、7月にはフレンズタイム集会という縦割り学年の集会を通して5年生が中心となって2年生とかかわる集会を経験してきている。集会後には、2年生から5年生一人一人にお礼の手紙をもらい、下級生から初めて高学年として賞賛されることにとても喜んでいて。そして、学級内においての集会のふり返りでは、「もっと2年生と高学年としてかかわりたい」や「もっと仲良くなる遊びを工夫したい」など前向きで意欲的な発言がたくさん出た。

2学期に入り、議題箱に「2学期に2年生とまたかかわりたい。」という議題案が入れられていた。本校では、1年生と6年生がグループになり、異学年同士の交流を学期の節目ごとに行っている。しかし、他の学年が継続的に異学年同士の交流を行えていないため、上級生が下級生に積極的にかかわっていけない子ども達が多かった。そこで、今回継続的に5年生がリーダーシップをとってできる活動を設定することで、下級生の気持ちを考えた活動を行うことに大切さをさらに学び、高学年としての意識を高めることができると考えた。そして、こうした活動を重ねることにより、学校全体のことを考えられるような高学年としての行動ができるのではないかと考え、計画委員会で話し合い、学級や学年の様子をふり返りながら「笑顔いっぱい!2・5年フレンズタイム集会パート2の計画を立てよう。」という議題を選定した。

本学級の子どもの学級目標は「何事にもチャレンジし、小で一番、笑顔と優しさがたえない5年組」である。本学級の子どもの学級目標(男子名、女子名)は、学級集会や学校行事など常に学級目標にある「チャレンジ」「優しさ」「笑顔」を意識して活動し、ふり返りを通して学級への所属感や満足感を高めてきている。そのため、男女の仲がよくなり、学校生活を楽しくしたい、友達ともっと仲良くなりたいという願いをもっている。また、自分の興味があることについては、意欲的に活動する姿が見られる。5年生になってからは「学級目標を決めよう。」「クラスのためになる係を決めよう」「体育会を盛り上げよう」「ボール満タン記念ミニパーティをしよう」「雨の日の過ごし方を決めよう」「小5のベスト1パーティをしよう」という議題で話し合い活動を行ってきた。このような話し合い活動を通して、自分との共通点や違いを比べながら意見を述べたり、根拠をはっきりさせて意見が言えるようになってきたりして、話し合いも深まるようになってきている。また、自信をもって発言する子どもも増えてきている。しかし、発表に消極的な姿をもつ子どももいる。これは、教師に対する依存の姿勢や自信のなさからくるものであると考える。そこで、学級全員の子どもが議題を自分のこととして捉え、活発な話し合い活動ができるような事前の活動を充実させる。そして、話し合い活動では友達の思いや願いを聞き、自分の意見を重ねていくことで、よりよい結論を導き出すことのできる力が身につけることができるように支援していきたい。

本指導にあたっては、事前の活動で2年生がどんな遊びを知っていて好んでいるのかインタビューしたり、2年生の立場に立って遊びを考えるため実際に昼休みに2年生と遊んだりして2年生の理解を深めるようにする。そして、2年生とできる遊びを公募する。その後、計画委員会で話し合い、提案者の提案理由や学級目標達成にあう遊びを4つ決め、プロジェクトチームを発足して原案を作らせるようにする。

事中的話し合い活動では、プロジェクトチームがそれぞれの原案の発表を行い、それをもとに2つ遊びを決定する話し合いを行う。司会は、提案理由や話し合いのめあてをふり返らせ、教師も必要に応じて助言するようにする。原案に対する付加修正の意見も取り入れながら、互いの考えのよさを生かして認め合いながら話し合いができたことを実感させるようにする。

事後の活動では、役割分担や計画表を活用して責任をもって意欲的に活動できるようにする。また、活動する姿や成果を2・5年生双方向から褒め合うことで達成感や高学年として下級生とかかわるうという意欲をさらに高めたい。

3 目標

進行に協力し、自分の考えをもって進んで話し合おうとし、進んで決まったことを分担して自分の役割に責任をもって活動することができる。

(関心・意欲・態度)

高学年として2年生ともっとかかわりを深めたいという課題意識をもち、2年生が楽しく活動できる集会内容を考えたり、自分達のよさを発揮できる役割分担を決めたりして、2年生のことを考えながら活動できる。

(思考・判断・実践)

2年生と5年生の関係をよりよくなるフレンズタイム集会のやり方を理解できる。

(知識・理解)

4 指導計画

展開	児童の活動	教師の指導	日時
事前	1、一学期のフレンズタイム集会活動をふり返り課題意識をもつ。	一学期のフレンズタイム集会の良かったところや課題を交流させる。	9月4日 朝の会
	2、議題を募集し、計画委員会で議題を選定する。		9月4日 ～9月7日
	3、議題名と提案理由を大まかに知らせ、活動の見通しを持ち、実態調査のお願いをする。	計画委員会で帰りの会でお知らせとお願いをする。	9月7日 朝の会
	4、2年生の実態調査をする。 ・インタビュー(2年生・担任) ・遊ぶ	理由も聞くように助言する。 個別調査と全体調査をして全員が2年生の理解を深められるようにさせる。	9月7日 ～9月18日
	5、遊びを公募する。	体験したことをもとにしなが ら、遊びを考えさせる。	9月19日 ～9月21日
	6、プロジェクトチームを発足し「笑顔いっぱい!2.5年フレンズタイム集会パート2」の原案を作成する。	公募内容をもとにしなが ら計画委員会と教師で活動を4つ選定する。	9月25日 ～9月28日
	7、学級会の活動計画を作成する。 議題を「笑顔いっぱい!2.5年フレンズタイム集会パート2の計画を立てよう」に決定する。 話合いの進め方を司会グループとプロジェクトチームで打ち合わせをする。	計画委員会で議題に対して話し合うことを明らかにし、選択の話合いの進め方を打ち合わせる。	10月1日 ～10月3日 昼休み
	8、議題説明会を開く	話合いに対する意欲を高めさせるために、議題の価値付けをし、プロジェクトチームの意欲も補足できる話をする。	10月4日
	9、原案に対する質問や自分の考えをまとめる。	提案理由に視点を置かせ、質問や自分の学級会個人ノートにまとめさせる。	10月5日
	10、学級会に向けて司会のリハーサルをする。	話合いで出される意見を予想しながら、司会が気をつけていくことを確認させる。	10月10日 昼休み
本時	1、2.5年フレンズタイム集会パート2の集会内容を話合い決定する。	下記参照	10月15日 5校時

事後	1、2・5年フレンズタイム集会パート2の準備（活動目標 役割分担）	話し合いにもとづいて、自分の役割に責任をもって協力して活動できるようにする。	朝の会 昼休み
	2、2・5年フレンズタイム集会パート2の実施	活動目標を意識し、進んで活動できるようにする。	10月下旬
	3、活動のふり返しをする。	活動のよさを味わえるように自他のがんばりを認めあえるようにする。	10月下旬
	4、計画委員会で活動のふり返しをする。	成果と課題を出し、次回の計画委員会につなげるようにする。	11月上旬

5 本時の活動 平成24年 月 日()

6 本時の目標

1年生と5年生がもっと仲よくなる遊びを2年生の立場を考えながら決めることができる。

7 本時の展開

提案理由 7月のフレンズタイム集会では2年生と話したり、遊んだりして少しずつ仲良くなってきました。ただ、まだ私たちが2年生とのかかわり方があまりよく分からずに困ってしまうこともありました。そのため、今度の「笑顔いっぱい！2・5年フレンズタイム集会パート2」で高学年として2年生のことをさらに考え、2年生も楽しめて5年生も楽しめる遊びや仲よくなる方法を工夫して、もっと2年生と仲よくなりたいです。そして、このように「チャレンジ」することによって学級目標の「笑顔」と「優しさ」にさらに近づき高学年としてさらにパワーアップすると思ったからです。	
話し合いの順序	指導上の留意点()と評価()
1. はじめの言葉 2. 司会者グループの紹介 3. 議題の確認 4. 提案理由の発表 5. 話し合いのめあての確認 6. 教師の話 7. 話し合い 柱1 どんな遊びをするか決めよう。	司会者カードを活用することで、自分達の手で話し合いを進めることができるようにする。 一人一人がめあてを発表することで、司会グループの一員であることを認識できるようにする。 事前に必要事項は板書しておくことで話し合いの時間の効率化を図る。 議題・提案理由・話し合いのめあて・話し合いの柱・を確認させ、本時の見通しをもたせる。 2年生のしたい遊び・知っている遊び調査をもとに提案者が画用紙に書いた原案を提案させることで、その内容を視覚的にとらえやすくさせる。 提案理由を考えながら発表したり、聞いたりすることができるようにする。 2年生の立場を考え、思いやりのある発言をすることができる。(思考・判断)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 教師がもつ話し合いの3つの観点 2,5年生が仲よくなるもの(課題性) 2,5年生一緒にできるもの(相互性) 2年生全員が分かり活動できるもの(現実性) </div> 8. 決まったことの発表 ・ノート記録が発表 9. 活動を振り返って ・感想発表 11. 教師の話 12. 終わりの言葉	学級会ノートを使って自己評価を行い、話し合いを振り返る。また、感想を発表させることで友達のよさを認め、相互評価をする。(思考・判断) これまでより前進した所やがんばった子の紹介・次回活動の動機づけ・司会者グループの賞賛をおこない、話し合いの達成感を味わわせるとともに活動への意欲付けを行う。

8 評価

進行に協力し、自分の考えをもって進んで話し合おうとし、進んで決まったことを分担して自分の役割に責任をもって活動することができたか。

(関心・意欲・態度)

高学年として2年生ともっとかかわりを深めたいという課題意識をもち、2年生が楽しく活動できる集会内容を考えたり、自分達のよさを発揮できる役割分担を決めたりして、2年生のことを考えながら活動できたか。

(思考・判断・実践)

2年生と5年生の関係をよりよくするフレンズタイム集会のやり方を理解できたか。

(知識・理解)